

連合山梨 2014 女性委員会学習会

山梨まんまくらぶ

はじめに

9月にはがん征圧月間、10月にはピンクリボン月間を迎える。この機会に、女性の健康について、山梨のリーダーである方々に、女性の健康(乳がん、子宮頸がん)に関する情報提供を行った。内容としては、山梨県のがんの現状と対策、乳がん、子宮頸がんの基礎知識、治療・療養に関する情報提供。そして、社会にお任せするのではなく、自分のからだは自分で守る意識付けになるような提案をした。

また、乳房のしこりモデルを使い、乳がんのしこりを体験することで、自己検診への関心を高める動機づけを行った。

実施概要

◆実施期間 2014年9月19日(金) 18:30~20:00

◆実施内容 講演、自己触診体験

◆プログラム

1	山梨県の状況	○ 山梨県地域がん登録から、県内のがん罹患状況とがん種別・男女別年定階級別の罹患状況を知る
2	そもそも「がん」ってなに？	○ がんの基礎知識と、発がんのリスクを考える
3	がん治療について	○ がん治療の概要と、山梨県のがん治療環境を知る
4	乳がん、子宮頸がんのお話し	○ 乳がんの基礎知識 ○ 子宮頸がんの基礎知識と発がんの仕組み
5	知っておいてほしいこと	○ NCDとタバコと日本のタバコ対策

◆参加者 31名

◆実施形式

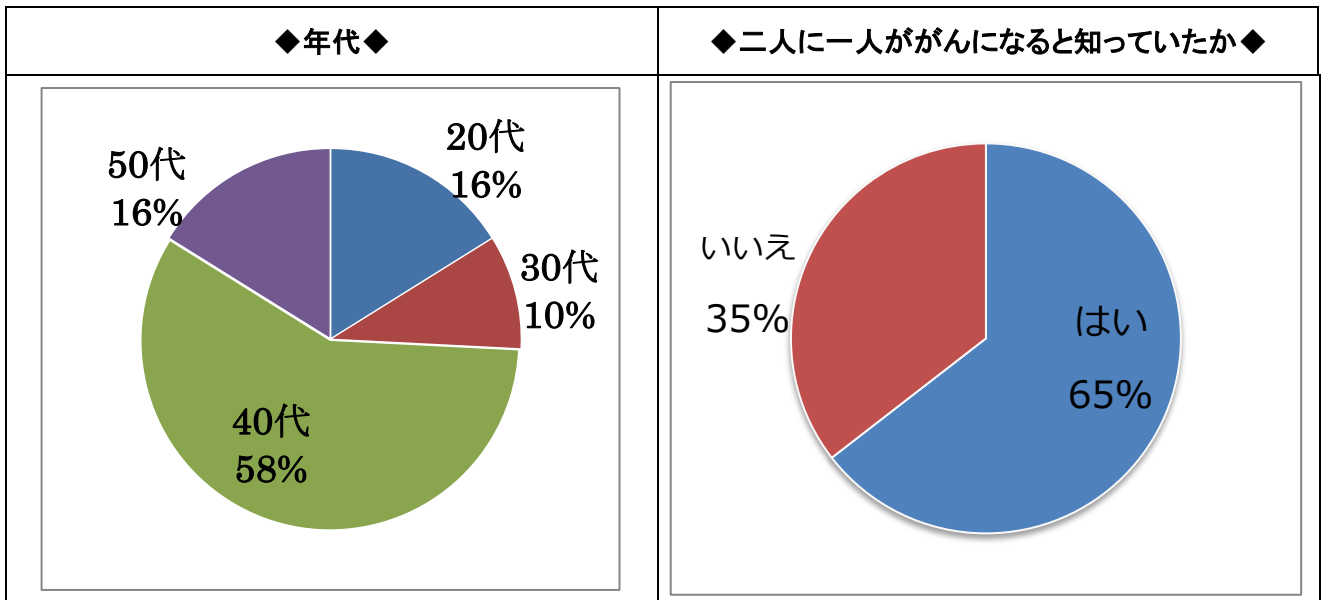
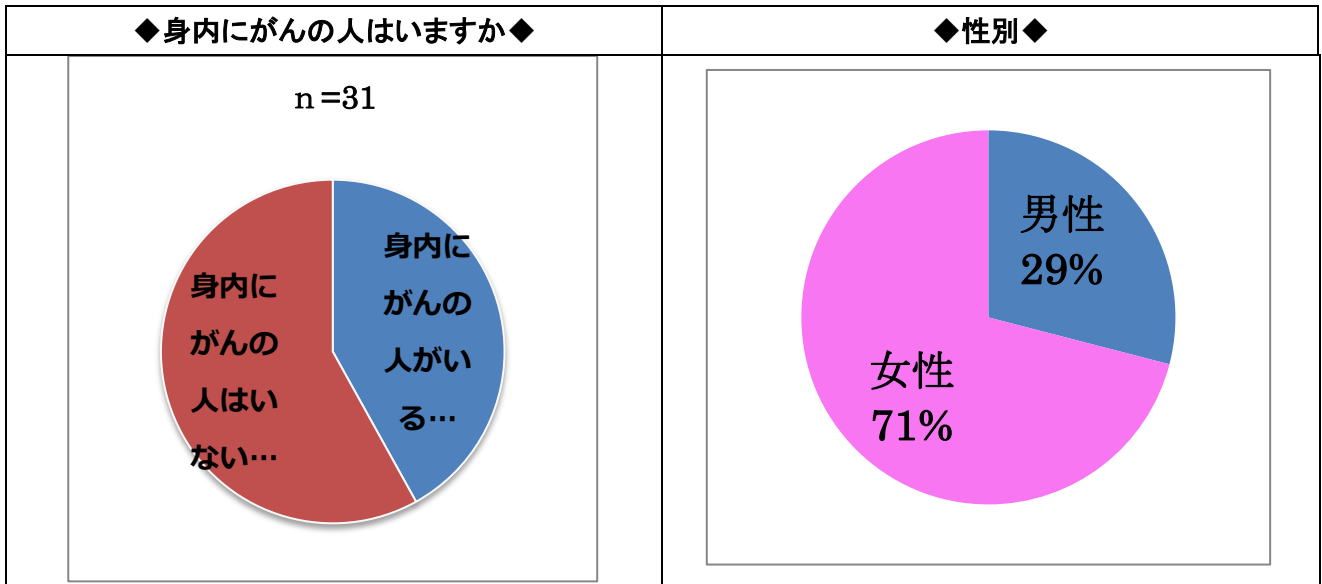
- ・PPTによるグラフ等を観ながらの講演
- ・乳房のしこりモデルを使った触診体験
- ・アンケートの実施

成果

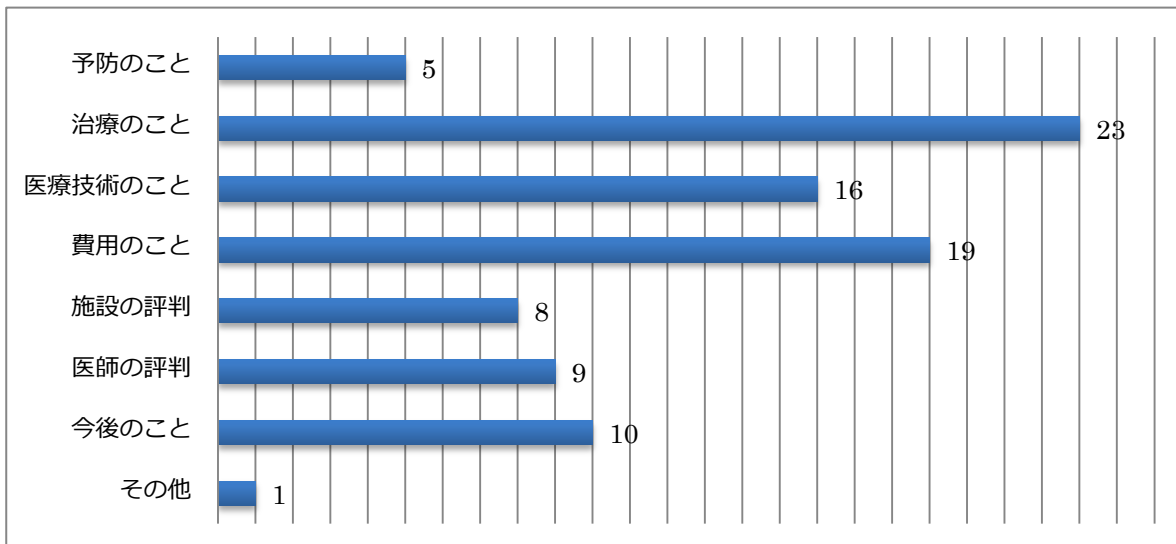
アンケートによると、がんについて初めて「がん」について考えた参加者が多かった。今までは漫然とイメージしていた「がん」が、自分のこととして向き合うきっかけになったことがうかがえる。また、がん治療に対するイメージも、恐怖から対策が打てるイメージに変わったように思えた。印象に残った言葉ベスト3を以下にあげる。

- ✓ 自分に関心を持つこと
- ✓ わたしの体は私が守る
- ✓ 標準治療

＜アンケートの結果 n=31＞



◆がんなどの大きな病気をした時、必要な情報は何か◆



将来性～今後のビジョン～

アンケートの最後の項目で「講演の中で一番印象に残った言葉」をたずねた。多くの人が、初めてがんに対する全体的な情報を知ったと思われる。初めて触れた内容は、一度では根付かない。今後の継続した情報提供が、「がんを知り、がんと向き合い、がんに負けない山梨の構築」につながると確信する。

【参考】

⑧印象に残った言葉
わたしの体は私が守る
がんは自分の細胞
子宮頸がんは男性の関わりが大きい
標準治療
がん検診への関心
標準治療
自分に関心を持つこと
自分に関心を持つこと
自分で守ろう自分のからだ、命のリレー
山梨は乳がん検診受診率1位 がん条例は議員提案
乳がんは早期発見で治せる
標準治療
がん教育の重要性
標準治療
自分のからだは自分で守る
タバコの危険性
全部
七位一体
早期発見、40歳の意識
標準治療
女性のがん罹患年齢、乳がん早期発見早期治療、子宮頸がんと性交渉、抗がん剤の情報



◆*****◆*****◆*****◆

特定非営利活動法人がんフォーラム山梨 理事長

山梨まんまくらぶ 代表

若尾 直子

yamanashi_mamma@kjb.biglobe.ne.jp

<http://www.facebook.com/naoko.wakao>

輝くピンクリボンペンダントで乳がんの撲滅を願いましょう！

宝石の街甲府ならではのキャンペーンにご協力ください

※売り上げの一部は「がんフォーラム山梨」の活動資金に充てられます。

詳しくは「山梨まんまくらぶ」まで

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~yamanashi-mamma/>

◆*****◆*****◆*****◆